

環境調査結果のお知らせ

平成31年4月24日9時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は18.9~20.5℃で、前回調査時(H31.3.25)と比較して全層で1.9~6.3℃上昇しました。塩分は26.0~32.7で、前回調査時と比較して全層で0.1~3.4上昇しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は7.3~9.2mg/lで、前回調査時と比較して表層から1m層で0.8~1.2mg/l減少し、2m層からB-1で0.5~0.7mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は0.6mでした。
 検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で36,000cells/ml確認されました。
 今後も、降雨や河川水の流入増により、増殖、拡大する可能性があります。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.3.25)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	20.5	14.2	6.3
1m	20.0	16.0	4.0
2m	19.3	17.1	2.2
B-1	18.9	17.0	1.9

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.3.25)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	26.0	23.7	2.3
1m	30.1	26.7	3.4
2m	31.9	31.6	0.3
B-1	32.7	32.6	0.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H31.3.25)	
		前回調査	差(今回-前回)
0m	8.9	9.7	▲ 0.8
1m	9.2	10.4	▲ 1.2
2m	7.8	7.3	0.5
B-1	7.3	6.6	0.7

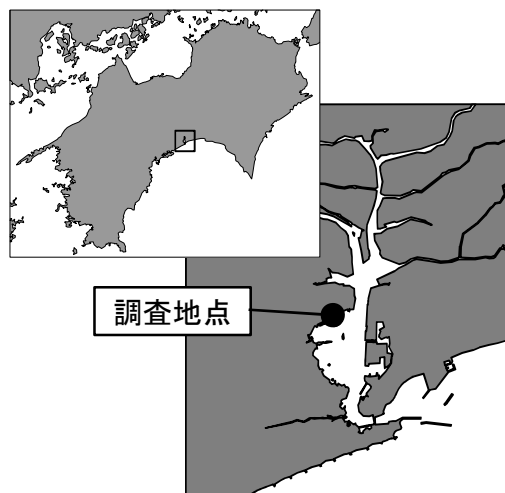


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.8	4.0
透明度	0.6	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステイナム	アカシオ・サングイネア	珪藻類
0	36,000	0	0	650
1	12,000	0	0	560
2	2,000	0	0	400

漁業被害が想定される細胞密度
 ・ヘテロシグマ・アカシオ:
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>